

# お知らせ

琵琶湖側より小谷山を望む



## 国指定史跡 小谷城跡～戦国大名浅井氏の居城～

昭和12年4月17日（平成7年2月14日追加指定）

湖北町伊部、小谷郡上町他

小谷城の遺構は、小谷山最大の谷、清水谷とその両側の尾根および大嶽にあります。その構造は、山王丸、本丸（鐘丸）を中心とする山上の主郭と、浅井氏の館や家臣団の屋敷のあった清水谷、これらを守るように配された出丸、金吾丸、大嶽城、月所丸、焼尾丸、福寿丸、山崎

北近江の守護大名京極氏の被官であった浅井亮政らが天永3年（1523年）京極氏の内乱に乗じて国人一揆を起こしたことがきっかけで、亮政が次第に主権を握り江北を支配していききました。小谷城はこの頃築城されたと考えられます。長享年後畿内兵乱記に「大永5年（1525年）（六角）定頼公は浅井の城大嶽へ出陣。現代語に改めています」と書かれていることから初期の小谷城は現在本丸と呼ばれているところではなく、小谷山最高峰の大嶽に築かれたことが知られます。その後、大嶽から南に延びる尾根上に本城が移され、天正元年（1573年）9月1日に落城するまで浅井亮政、久政、長政の三代約50年間にわたって本拠となりしました。

小谷城は、湖北平野の北部、標高495mの急峻な小谷山に築かれた戦国時代屈指の山城です。北近江の守護大名京極氏の被官であった浅井亮政らが天永3年（1523年）京極氏の内乱に乗じて国人一揆を起こしたことがきっかけで、亮政が次第に主権を握り江北を支配していききました。小谷城はこの頃築城されたと考えられます。長享年後畿内兵乱記に「大永5年（1525年）（六角）定頼公は浅井の城大嶽へ出陣。現代語に改めています」と書かれていることから初期の小谷城は現在本丸と呼ばれているところではなく、小谷山最高峰の大嶽に築かれたことが知られます。その後、大嶽から南に延びる尾根上に本城が移され、天正元年（1573年）9月1日に落城するまで浅井亮政、久政、長政の三代約50年間にわたって本拠となりしました。

最後に、浅井長政の子ども「万福丸」についてご紹介します。浅井長政とお市の方には万福丸、茶々、初、江の子どもたちがいました。（万福丸については諸説があります）万福丸、茶々、初、江の生涯については皆さんご存じでしょう。実は、長政にはもう一人男子がいたと言われています。湖北町二俣の中島家に伝

丸の独立した砦からなり、石垣や土塁、1100か所を超える曲輪で守りを固めた堅固な城です。その規模から全国屈指の山城と言われています。築城以来、少しずつその形を整えていったと考えられますが、特に織田信長との激しい戦いに備え大きく整備していったと考えられます。信長による幾度の小谷城攻めに耐えましたが、天正元年9月1日ついに落城しました。

丸の独立した砦からなり、石垣や土塁、1100か所を超える曲輪で守りを固めた堅固な城です。その規模から全国屈指の山城と言われています。築城以来、少しずつその形を整えていったと考えられますが、特に織田信長との激しい戦いに備え大きく整備していったと考えられます。信長による幾度の小谷城攻めに耐えましたが、天正元年9月1日ついに落城しました。



▲小谷城跡絵図



▲小谷城跡の位置図

問 文化財保護センター (☎64-0395)

\*被官：時代によって異なりますが、戦国時代では守護などの家臣となった土豪

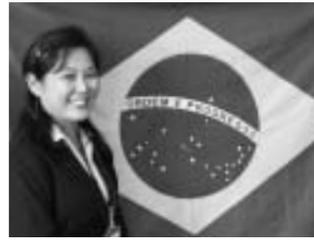
る伝説を紹介しましょう。万福丸と呼ばれるその子は、小谷城落城時まだ乳飲み子でした。長政は万福丸を家臣の中島左近と小川伝四郎、乳母に託しました。中島左近らに守られた万福丸は、小谷城を脱出し菅浦の安相寺（西浅井町菅浦）にかくまわれました。夜半、密かに船で菅浦から琵琶湖を渡り福田寺（米原市）に入り命を永らえました。やがて出家し住職覚芸の養子となり、第十二世正芸となりました。真相はわかりませんが小谷城の麓で永く大切に伝えられたお話です。

**ながはまの文化財**

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、429件ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

※平成23年8月1日現在

## ソランジェの「幸せを感じる市場の彩り」



長浜市国際交流員 ソランジェ

「早く起きなさい!!」と毎週日曜日朝早く、母が起こしにきました。もっと寝たかったな…。毎週日曜日の朝は墓参りへ行って、その後、市場で「パステル (pastel)」を食べることが楽しみでした。パステルはブラジルのおやつで、専用の生地を具を包み揚げたものです。様々な風味があり、一番好きだったのは鶏肉にカトウビリチーズでした。今は、干し肉にチーズ味が好きです。とても美味しく本当に幸せでした。パステルはまちのいろんな店で売っていますが、一番美味しいのは、やはり市場で売っているパステルです。

地域によりませんが、基本的に、市場は月曜日が休みです。もちろん都会では休みのないところがほとんどです。1914年8月25日にブラジルでは初めてサン・パウロ市で市場が開かれました。ですから、この日は市場商売の日です。けれども、知らない人がほとんどです。市場では、日系人がたくさん働いています。市場商売人の生活はとて

も厳しいです。朝3時ごろに起きて、野菜や屋台の準備をして、全部トラックに乗せて出発します。市場はおよそ6時半から14時ぐらいまでやっています。12時半をすぎると野菜や果物が半額になりとてもお得です。屋台では、ほぼ家族そろって働いています。市場の仕事が次の世代に引き継がれていくことが一般的です。

市場は様々な音に囲まれ、太陽の光が野菜や果物にあたってカラフルに彩られるため、すごくきれいで、とても賑やかなところ。市場はとて競争の激しい場所なので、商売人が屋台の前で大声を出して自分が売っている物が一番だ!!と叫び続け、次々と道行く客に声を掛けています。現在、野菜と果物の屋台だけではなく様々な商品も売っている屋台もあります。例えばお菓子、いろんな種類の豆、肉や魚、おもちゃもあり、鍋等の修理をする人もいます。今年で3回目を迎えたのは、サン・パウロ市の「市場のパステル大会」です。今年には日系人マリアさんのパステル屋台が優勝しました。賞金は約4千ドルでした。4位、5位と6位も日系人でした。とても嬉しかったです!!

ワンポイント  
ポルトガル語講座  
フェイラ  
Feira→市場



▲ブラジルの市場の様子

**消費生活相談コーナー**

**電話勧誘 すぐに信じないで!!**

「長浜市にお住まいの人だけにお知らせしています。〇〇会社のパンフレットが届いていませんか?」という電話が掛かって来た。「届いている。」と言うと「大切なお知らせですから中の半券を確認してください。」と言われ読みあげると、「素晴らしい購入権です。選ばれた人しか買えません。」と勧められ、断っても「必ず2倍で買い取るから。」と強引に言われ100万円分購入した。社債が届いたので買い取るよう連絡すると、「10口でないと売れない。」と言われ追加で5口購入した。その後、業者と連絡が取れなくなりました。(70代男性)

- ・社債・仏像・パソコンソフトなどを高額で買い取ると言って次々買わせる。
- ・過去に騙されて購入した社債を買い取るからと新たな商品を買わせる。
- ・話を聞いただけで説明代を請求される。
- ・実在する公的機関を騙り、未公開株の買い取りや譲渡手続きの斡旋をする。

上記のような勧誘は、「買いません・いりません!二度と勧誘はお断りです。」とはっきり断ってください。そんなうまい話はありません。いきなり電話で、儲け話を持ちかけられてもすぐに信じないでください。

問 環境保全課消費生活相談窓口 (☎65-6567)

**ブラジル料理教室**

ブラジル料理を味わいましょう!国際交流員を務める講師がブラジル料理作りとブラジル文化を紹介します。

【とき】11月5日(土) 13時~16時  
【ところ】六荘公民館(勝町)  
【参加費】800円(材料費)  
【講師】加藤ソランジェ彩子(長浜市国際交流員)  
【定員】16人(先着順)  
【申込方法】電話で下記まで

**紹介する料理**  
Cuscuz Paulista de Frango  
クスクス・パウリスタ・デ・フランゴ  
Beliscão de Goiabada  
ベリスカウン・デ・ゴイヤバダ(グアバのお菓子)

申・問 市民自治振興課 (☎65-8711)

**長浜市消費生活フェア開催**

【とき】10月15日(土) 13時~16時30分  
【ところ】湖北文化ホール(湖北町速水)  
【内容】リサイクルやリフォーム、省エネ、振込め詐欺防止など、賢い消費者になるための展示や発表が盛りだくさん!!素敵なエコグッズがゲットできるスタンプリーもあります!フリーマーケットも同時開催します。

問 長浜市消費学習研究会事務局<環境保全課内> (☎65-6513)